

平成二十九年八月一日発行（毎月一回一日）
書象 第六十五卷 第八号 通巻七四二号

書 系



私たちが「日本の書道文化の
ゴネス・无形文化遺産登録」を
応援しています。



日本書道芸術協会

2017-
8

卷頭言

—日展制作によせて—

高さを求めて

理事長代行　内藤望山

今年の日展制作が始まります。謙慎展、書象展、読売展と続けて作品づくりに励んできましたが、いよいよ本年度最後の公募展となりました。日展は入選率が極めて厳しく、レベルの高い書展です。しかし、書象会では初出品者も含め、毎年多数の会員が挑戦して、自己の書の向上を目指しています。

何をどう表現するか、時間をかけて早めに準備に取りかかることが肝要です。日展では、帖・巻子等の巻き物に挑戦する方が多く見られます。額装も縦作品、横作品の何れにするか、どの表現形式であれ、行数、字数により全く異なってきます。自分の最も得意な表現を選択することになりますが、これまでの経験上、密度の高い、しかも変化の求めやすい形式が効果的と言えると思います。

日展も他の書展と同じく、信山書風の研鑽に違いはありません。逆筆の効いた、力強くシャープな線表現、余白の美しさの追究は書象会員の共通テーマです。現書道会いずれの会も特長を持ち、表現のねらいを持っていました。本会の主要古典は、整齊を誇る「九成宮醴泉銘」と重厚雄渾な「張猛龍碑」です。これらを精習し、自らの作品の骨子として自己表現してきました。ここで大切なことは、楷書は“力の均衡”によって構築されていますが、北魏楷書と唐代の楷書とでは構造が全く異なっています。自分の作品にこの古典の要素をどう加えるのか、またどんな姿、風格に仕上げようとするのか、筆を持つ前にイメージを膨らませ、骨を作り、肉を加えて自分らしく躍動させることになります。

上條信山先生書「神品不滅」一九八〇年日展

日展は伝統重視の場ですから、自己流に走らず、古典を背景とした表現に根ざすことが大切だと思います。その上に信山書法の風格が加われば、一層光を放つものと思います。

日展制作は長期に亘る鍛成が続きます。夏季合宿鍛成会や数回の添削会に参加され、それぞれの課題や疑問を解決して下さい。日展は、他の書展とは比較にならぬほど大きな収穫が得られることがあります。





客去って茶香留む

8月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付



蜜

羅

波

若

船

漸

・蜜…左右のハライを
伸びやかに。

・羅…「隹」の横画は
平行等分割。

・波…流れようなり
ズムで。

・若…中心と横画の長
さに注意をしたい。

・船…偏がやや大きい。

・深…空間が大切。

・文字の大きさや概形
をとらえ、大きな運
筆を心がける。

「在」
二画目の長さ、角度
に注意。「土」は中
心より右側に書く。



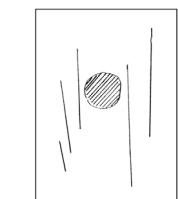
「菩」
横画の長さの違いを
とらえる。字形はや
や縦長。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

・全体構成：右下へ流れ
れる



・連綿体の動きを胴太
で力強く運筆する。



・直筆で上下の弾力が
加えられていて立体
感に富む。



くが
(可)み(三)山松風すず(ヽ)しこえくれば(八)
山ほ
(本)とと(ヽ)ぎ(支)す(寸)をちこちに(二)な(那)く

8月20日必着
出品券を貼付

・左下「な(那)く」
の横に余裕を持たせ
執筆者名「〇〇か
(可)く(九)」と入
れてみると作品効果
も高まる。

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

行の中心を通し、筆
をしつかり立てて軽
快に書く。

「あま（万）の」

あまの

「か（か）は（か）」

か

「へす（寸）」

へす

「す（須）」

す

「た（多）な（那）」

た

あま（万）のが（可）はか（か）は（か）べす（寸）す（須）しき（支）た（多）な（那）ば（者）たに（尔）

がつ にち ようび()

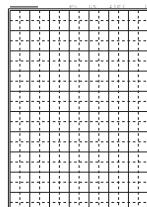


静岡岐阜愛知三重滋賀京都大阪奈良兵庫
岡山広島山口島根鳥取和歌山

8月20日必着

出品券を貼付
入選作のみ発表します

- ・適正な筆について
細字用面相筆もよい
が、羊毛の小筆が書
き易いようです。
- ・四行目「支部名 氏
名」は出品者の支部
名と姓号を書いてく
ださい。



- ・実用書の研究です。
用紙は半紙でなく、
「こくご」10マス十
字リーダー入りのノー
トを使ってください。
十字リーダー（点線
部分）を活用して、
位置を正確に習って
ください。

漢字条幅規定【条規】

田中節山先生書

段級位を明記のこと

庭竹清風出だす

節山

印

庭竹清風を出だす

- ・五字の大小の違いを見せる。
- ・「庭」の最終画は伸びやかに。
- ・「風」はかまえを伸びやかに。

条幅隨意
【条隨】

内藤望山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

水深クシテ魚樂ヲ極メ林
茂リ鳥帰ルヲ知ル 杜子美句
水深クシテ魚樂ヲ極メ林
茂リ鳥帰ルヲ知ル 杜子美句
水深クシテ魚樂ヲ極メ林
茂リ鳥帰ルヲ知ル 杜子美句

水深クシテ魚樂ヲ極メ林
茂リ鳥帰ルヲ知ル 杜子美句

- ・文字を直線構成にして漢字とカタカナの調和をはかる。
- ・逆筆藏鋒で入筆運筆して、鋭角な筆致で清冽感を表現する。
- ・「水」「深」「シ」「魚」「帰」はP14参照。

集早合ひ

中学一年規定【学毛】

山口啓山先生書

國史作

中学二・三年規定【学毛】

市澤靜山先生書

皆水
皆水

小学五年規定【學毛】

中村巍山先生書

天地
天地

小学六年規定【學毛】

高瀨霞山先生書

小学三年規定

【學毛】

寺尾碩雲先生書

火、火、火、火、火

小学四年規定

【學毛】

燕木珠紅先生書

火、火、火、火、火

小学一年規定 【学毛】

小室墨汀先生書

小学二年規定 【学毛】

朱永曉華先生書

學毛

學毛

硬筆規定

一般規定【二硬】(師範・準師範・段位)

上條信山先生書

小・中学生随意課題【学隨】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

世路ハ平坦たるものにあらずといふ
えども勇往邁進すれば必ず成功べ
彼岸へ達し得るものである。

彼岸へ達し得るものである。

一般規定【二硬】(級位)

藤岡月華先生書

「天衣無縫」藝術作品などに技巧の
あとがなく、完全無欠なこと、天人
の着物のぬい目がないこと。

中学規定【学硬】

杉山暁雲先生書

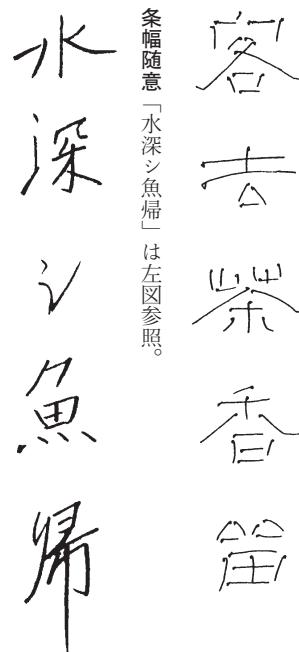
三蹟は道風、佐理、行成です。
平安朝和様書道の能書家の

ことをいいます。



中学二・三年

学生部規定



・条幅随意「水深シ魚帰」は左図参照。

手本解説
・基本 「客去茶香留」は左図参照。

小 一・二年 学	山
中 三・四年 学	太陽
中 学	残暑
小 三・四年 学	夏

行書の特徴である筆脈、点画の連続を意識してリズムよく書く。筆使いに気を取られる字形が乱れやすいため、文字の概形や点画の方向、長短、角度に気をつけて、整えて書く意識を持ちたい。



中学一年

私はその日に読んだ本や教科書で勉強したこと記入して.

感想をそえます。

小学三·四年規定【學硬】

名前
支部 年
級段

山の日に上高地へ行つた。
川ぞいで遊ぶサルの親子
に出会つた。

小学一·二年規定【學硬】

竹内墨洋先生書

き	正	字
ま	し	を
ま	い	か
よ	し	く
う。	せ	と
なまえ	い	き
支部	で	は
年	か	'
きだ み うん		

※出品券を貼付
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用のこと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大きさ→たて18cmよこ7cm 小一・二課題→21cmのマス目。紙を使用する。小三・四・五・六課題→21cm巾の罫線を引く。



小学二年



小学四年



小学六年



小学一年



小学三年



小学五年

古典研究シリーズ ④⑩【古典】

表現的臨書

(A) 線に主觀を加える

〈ねらい〉自己の要求に応ずる線を、古典の形を借りて自在に表現する。

孔子廟堂碑（唐）

虞世南（五五八～六三八年）

（学習①）課題の古典の中から四～六字を選び、写実的臨書をして、その形をしつかりとこらえておく。そしてその形を用いて、次のような作者の芸術的意志（表現意志）を次々に加えて、様々な線表現を試みる。

今月のテーマ

表現的臨書(A)

中字（四字～六字）

（学習②）右の要素をいろいろとりまして、全く独自の新しい線表現を試みる。

- Ⓐ運筆に変化を与える——(ア)筆圧を変化させる (イ)遅速、緩急をつける (ウ)細太、強弱をつける
- Ⓑ筆の種類を変える——細太、長短、剛柔、竹筆、鶴毛筆、その他自己創案の筆などを使ってみる
- Ⓒ墨色をさまざまに工夫する——濃墨、淡墨、にじみ、かすれ等を効果的に用いる
- Ⓓいろいろな用紙を用いる



〈釋文〉微臣屬書東觀。預聞前史。若乃知幾其神。惟睿

(編集部)

—信山先生の自伝—

「硯上の塵」を読む56

る。南京に到着した時、私は実は期待で胸がわくわくしていた。それというのも、張廉卿はかつて十年間、この南京にあつた鳳池書院の書院長（主講）を務めていたからである。

前回は、上條先生にとって特別の地である中国訪問についての話でした。そして、ついに先生は南京で日本ではまったく手に入らない張廉卿書の対聯を入手することができました。先生のお喜びはいかばかりだったでしょう。

1. ここがれの大地 ③

張廉卿の真筆となるとどこでも返ってくるのは「没有」（ありません）のすごい返事ばかりであった。そこで、ある方を通じて文物商店に再度来訪する際までに探しておいてほしいとお願いしておいたのであ

私の期待は的中した。「向易野竹先抽筍。待雪官梅欲試花。（易に向かう野竹 先ず筍を引き、雪を待つ官梅 花を試さんと欲す。）」のみごとな対聯が目の前に広げられた。あざやかな潤筆で、微塵のゆるぎも見せない。まさしく張廉卿の真価がいかんなく發揮された名品だ。私はただありがたくて、文物商店の経理に「謝謝！」を連発するばかりであった。



南京で入手した張廉卿書の対聯

北京の琉璃廠にも立ち寄った。昨年来の二度目の訪問である。この琉璃廠文物街で、とくに拓本を豊富にそろえているのが慶雲堂である。この慶雲堂の経理の陰金城氏は、拓本に関して日のきくことで天下有名のある方であるが、私が店内に入ると非常な熱意で「热烈歡迎」をくり返し、二階の応接室に通して下さった。そこで毛氈を広げ、慶雲堂の題字を書くよう依頼された。中国では題字はきわめて重視され、あらゆる題字は求めに応じて著名な文化人や芸術家が書いたものである。私にとっても張廉卿、宮島詠士書法の継承者であると紹介された以上、その期待にはなんとしても応えなくてはならない。用意された画仙紙は縦に対し、やや横幅が足りなかつたが、それはそれで仕上げるべく配字を考え、あとは雑念を払つて一気に書き上げた。その作は

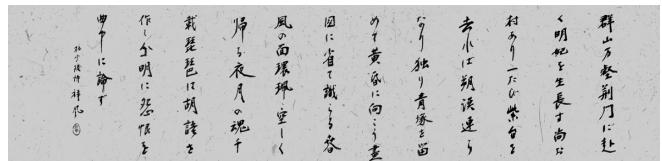
今も慶雲堂店内の正面のガラス入りの額に入れて掲げられている。

晚年唯好靜萬事不關心自顧無長
策空知返舊林松風吹解帶山月照彈
琴君間窮通理漁歌入浦深輝

輝

書象賞

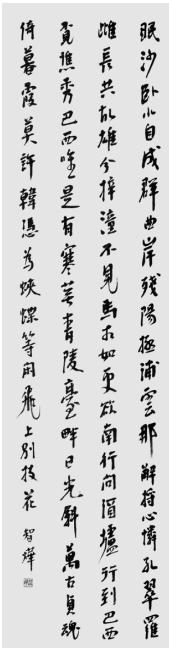
第56回 書象展



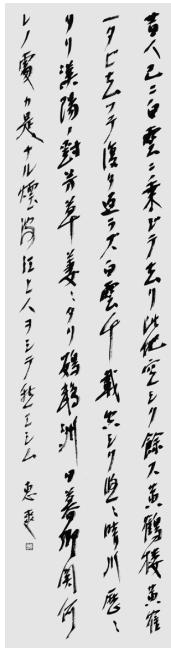
大澤 輝節



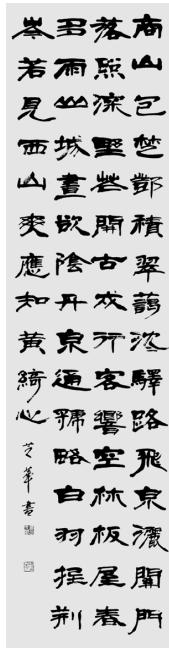
岩橋 祥風



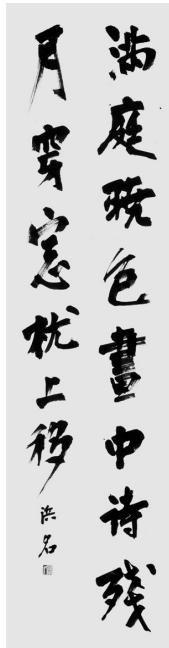
小林 智輝



菊地 恵爽



加藤 芝華



影山 浜名

高廟空山裏，秋風落日斜。
荒庭垂橘柏，古屋畫龍蛇。
雲氣生虛壁，江聲走白沙。
早知乘四載，疎鑿控三巴。
——壺晶



武次 壺晶

江浦六月時方早，田中甲坼就以燭。赤日當空無寸雲，西野農夫愁。
嘆松山人意奇特，脫底大有健。天力灑墨寫作雨，薰園滿紙淋漓。
雲墨色山童攜圖到茅舍，座客爭看盡驚訝。入乎如聞風雨聲，間
織似見波濤鴻。吾聞古人畫月但畫雲。丁酉之夏彩節



嶋上 江茜

江浦六月時方早，田中甲坼就以燭。赤日當空無寸雲，西野農夫愁。
嘆松山人意奇特，脫底大有健。天力灑墨寫作雨，薰園滿紙淋漓。
雲墨色山童攜圖到茅舍，座客爭看盡驚訝。入乎如聞風雨聲，間
織似見波濤鴻。吾聞古人畫月但畫雲。丁酉之夏彩節



齋藤 彩節

世上漫相識，山翁殊不然。興來書自聖醉後，
涪在顛白髮。老閒事青雲，在同前。
林頭一壺酒，能多愁。——次曰城 富靜



小林 富靜

地塘谷草堂
——徑石



三浦 徑石

王郎酒酣拔劍斫地歌莫哀，我能拔尔抑塞兵。蘋之奇才
豫章翻夏口，日動鯨魚跋浪搖溟闊。且脫劍佩休徘徊，
得諸佛岸錦水能向何日。淚珠痕，仰宣牒。頭簪色深
青，眼高歌望吾子。眼中之人，吾老矣。——角庭



牧野 蘭庭

士卒何草！榮城墮與道不滅。鐵不少，小城而丈餘。
道向墮國連修，肉還滿胡要錢。六馬行焉，指山陽。
遙雲列義，移飛。莫不能躡胡羣。小臣自宜後。
萬象而却——丈夫龍，要為。寒狹官第。草平。奈卷三。



中島 泰蕙

吾が道ハ非ナル力。腹野ニ乗タル江濱此ノノ如シモリテ何ニカ之
リ起ツハ鳥鶴ノ初エテ網ル後ニ羅ノ宿ルハ半年ノ下ラント欲スル時
ニ及ガ風力漸ク添イテ帆力健ニ轍声常ニ程ク厲声ノ悲シキヲ晚
東スクヘル淮南ノ路江對青山合ニ種有ルベシ。華照カク



千葉 華照

第45回日本の書展

(東京展一部紹介)

会期 六月十五日(木)～二十五日(日)
会場 国立新美術館(港区六本木)

秀
抜
選

君
乎
未
諸
已

青木 橙華

乘羽觴辭用

青柳 緑水

落日松風起墨家草書稀
光侵履跡山翠柳人衣
重清

榎本 壱清

眼福新重
紫陌長ノ禁城
春色晚三度
りを條ノ御ハ青
頬ニ垂レモ蝶ノ流
寶へ建幸ヲ統ル
劍舞聲ハ玉屏ノ
歩・道上衣冠身
六神鑑・香ヲ
參アリ不思風
浮々風吹トより
朝・御ノ樂ヲ
君主・詩廿

芦川 臨泉

仁風尊和氣生

昌靜

春風和氣生

皓山

何
青
湘
來
雲
皋
晚
家
雙
魚
夢
郭
漢
不
寒
開
江
須
深
襟
頭
求
又
白
江
曰
水
西
賦
南
萬
巒
重
芳
蘭
洞
庭
流
堪
葉
下
枕

児玉 葉雪

寫
花
海

丁酉之夏
承秀

齊田 昌靜

小林 皓山

岡本 秋麗

雪
通
か
て
禪
意
を
知
り
采
流水
道
心
を
見
る
皎
山

大島 皎山



竹本 黎山



関 珠蘭



鈴木 花仙



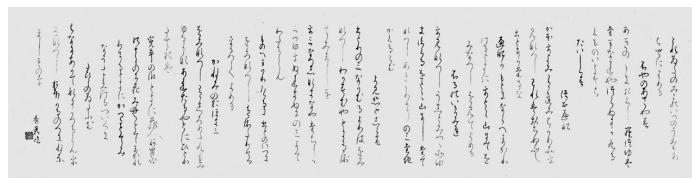
不同

酒井 不同



優月

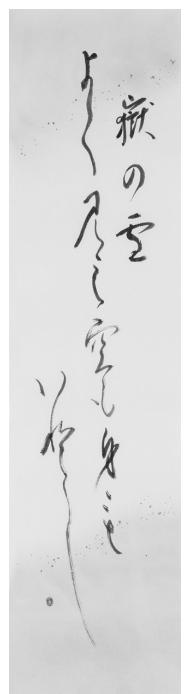
齋藤 優月



米倉 花山



美斎津嶽心



松本 小光



福山 京江



照悦

日比野照悦

高田墨山先生を偲んで

五月十八日（木）、墨山先生の訃報に接し、当日の木曜会に参加した一同は驚きを隠せませんでした。

木曜会では、的確なご指導を厳しい言葉でいただきました。また、夏季合宿では、皆さんが書かれているところを巡回され、多くのご指導をいただきました。更に、お酒の好きな墨山先生として、先生を慕う人たちとご一緒に、新宿・渋谷界隈を散策したものでした。

五月二十四日（水）にお通夜、二十五日（木）には告別式と葬儀はしめやかに執り行われ、墨山先生にお別れを告げようと、書象会の会員を始め多くの方々が参列されました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

（編集部）



皆に愛された高田墨山先生ご遺影



弔辞を読まれる田中節山先生



美しい花で飾られた厳かな葬儀

追悼
高田墨山先生のこと

会長 田 中 節 山

今から六十二年前、私が高校一年生の時、高田墨山先生の母校、飯田高等学校で授業を受けたのが高田墨山先生との初めての出会いでした。先生は学生服、頭はチリチリばさばさ、ひげも青々としたちょっと強面の大東文化大学の三年生でした。私に続いて二年後、市澤先生も高田先輩に憧れて上京、上條信山先生のもとで今日まで、信山バリを学んできました。信州飯田の地では、やがて墨山、節山、静山の三人を「飯田三山」と呼んで、讃えられるようになりました。

訃報の連絡に、地元の新聞「南信州」は、墨山先生の功績を「後進の育成、海外でも活躍」と大きく伝えました。

墨山先生は、師の「信山バリ」直伝の最高の指導者でした。そればかりではありません。上條先生の提倡する「国際親善と書を外国に普及する運動」の後継者でもありました。

また、墨ちゃん、ボクなどと皆から親しまれています。その書は豪快、筆致は厳しく他の追随を許さず、晩年に開催された夏の郷里での個展は見事でした。「墨山ここにあり！」伊那谷の大自然の中、緑の台地に、田んぼの上に驚きの展示でした。

二年前には、東京渋谷での「書の三山展」行い、数年後には…と約束していたのです。まもなく体調をくずされて、お別れの日を迎えてしまいました。書象会では大きな柱を失いました。皆に尊敬され、親しまれた墨ちゃんの死は、あまりにも大きな衝撃でした。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



1962年銀座画廊にて
第1回書象展の大垂れ幕の
前にて
上条信山先生と高田墨山先生



祭壇の脇には作品と新聞の
切り抜きなどがならんだ



2015年
謙慎展授賞式後のお祝い会席上
何と!?醤油で「愛」を揮毫



2012年
飯田での個展では野山池
を走り回って案内された



1985年
玄之会合宿（河口湖）にて
若い人との交流が大好きでした

墨山先生を偲ぶ

高校一年の時、書象誌により学び始めました。早くもこの時、高田先生から信山バリの指導を受けました。それから六十年間、実に多くの教えをいただきました。感謝です。

（市澤 静山）

上條先生のお宅近くの櫻荘時代から五十七年の長きに亘りお付き合いをいただきました。中でも執筆法、腕法など信山書法の要訣を深夜まで教えて戴きました。感謝に堪えません。四畳半での作品づくりや一パイが、今も懐かしく蘇ってきます。

（内藤 望山）

書き上げた後の満足そうな顔。いつも少年の様に瑞々しい気持ちを持っていた高田先生。筆を通して自他の人生を見詰めていたのでしょう。

（虎井 曜鐘）

書象会の先輩の中でも長兄のように慕っていました。信山流を極めた墨山流の切れ味に憧れていました。そして無欲恬淡の人柄にも。

（杉山 瞳雲）

先生とは半世紀のお付き合いになります。信山流の基本から作品の作り方までご教示を受けました。信山バリの根本には特に感銘を受けました。感謝の気持ちでいっぱいです。（中村 巍山）

透徹した線の美しさ、抜群の造形感覚の書に憧れました。素朴かつ情熱の人柄を尊敬しておりました。高校三年の時、初めて謙慎展に出品し、褒状をいただいた頃のことです。

（二瓶 嶽風）

伊那の清流碑、その碑陰。気韻生動、この文字はただより“精神の書”を継承し、先生ならではの超近代的感覚のではない、と感想を述べたところ、恥ずかしそうな顔をして、「あの時、神が降りてきてくれたんだ」と。忘れられません。（樋口 玄山）

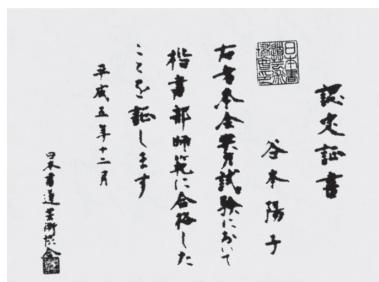
それにしても先生、よく飲みましたね!!先生は上條先生を加味して常に清冽な気魄に満ちた作品で私たちを魅了して下さいました。慈に心より感謝いたします。合掌。（山口 啓山）

平成二十九年度春季師範特待生昇格試験合格者

特待生



小・中学生準八段に達した者は「特待生試験」合格により八段特待生となる。「8級下」から始め、四十二階級を登りつめた栄誉を讃え、賞状ならびに副賞として墨と楯（左写真）を贈るものである。



認定証の申込みについて

師範昇格試験において、正師範・師範・準師範に合格し、その認定証を希望される方は、該当各書体の合格年月を記入した申し込み書に費用を添えて書象会本部庶務部までお送り下さい。

尚、お申し込みいただいてから認定証の発送までに、若干時間のかかることがあります。ご了承下さい。

尚、お申し込みいただいてから認定証の発送までに、若干時間のかかることがあります。ご了承下さい。

● 正師範 五体

五〇、〇〇〇円

● 師範 一体に付

五、〇〇〇円

● 準師範 一体に付

四、〇〇〇円

◎材質・寸法

檜無垢 A タテ六〇cm×ヨコ一五cm×厚さ一cm

B タテ四五cm×ヨコ一三cm×厚さ一cm

※ A・B共に貼り畳み入り

◎申請料

三万円（送料・税込み）

書塾用に看板を用意しております。ご希望の方は左記の要領でお申込み下さい。

◎資格条件

書象誌において、一体でも師範に合格した方。

看板の頒布のお知らせ



◎お問い合わせ・申請先
〒180-0001 武藏野市吉祥寺北町四一二一六
書象会 庶務部
☎・FAX ○四二三一五三一九七四二

師範合格書体・年月と御希望の寸法A・Bのどちらかを記入して、申請料と共に書象会庶務部まで、現金封筒でお申し込み下さい。

昇段級試驗特集

平成二十一年度春季昇段競技試験の合格作品の秀作と審査評を掲載いたします。合格率は、師範 68% （受験者二〇名）、准師範 58% （同二七名）、特待生 58% （同二四名）でした。今回の仮名と漢字条幅における課題の難易度が高く、会員皆さんの苦労の跡が見て取れました。しかしながら、合格した作品はどれもが基本上に実用的な定型感のある作品です。格付けは、日頃の基本練習を含めた取組みがいかに重要かを物語っています。筆遣いや全体感など、今後の学書に生かしてください。



師範名東和仁敦子

るぎない運筆で含墨にも優れ、構造も明るく全体観も素晴らしい。まさに師範格たる作品である。



富貴 華師 藍香

やや小ぶりだが、それ
が余白美となり作品全
体に清々しさを与えて
いる。運筆も一寧で兩々
まで気配りが感じられ
る。



横浜 準五段 森晨英

直線的な構
画、整った
字形は古典
の特徴をよ
く捉えてお
り緊張感あ
る作品に仕
上がった。



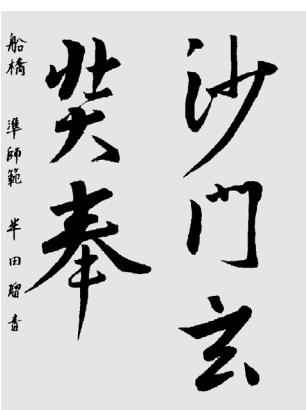
準師範 横浜森 晨英

古典の特徴の一つである背勢を「刺」「風」「歎」から感じ取ることができ。今後も古曲に徹した書き方を貫いて欲しい。



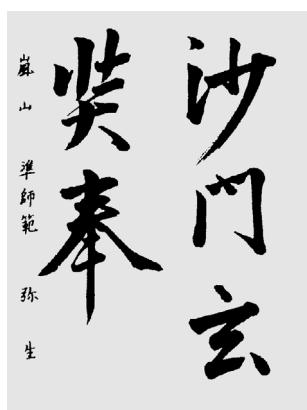
平成準五段 智子

基本に忠実で、一点一画にゆるぎない筆の動きが見事である。位置大きさ、形も完璧で、落ち着いた作品である。



船橋 準師範 半田留香

素直でゆづらぬ運筆で伸びやかさのある作品。文字構造の広さ、緩急の変化が見られるのは鍾成の成果である。



師範 船橋 半田 瑠音

切れ味のいい線で、リズムよく筆が動き引き締まつた作品に仕上がった。中心通り、余白が生きた季作。



伊索五段
林加拉文

中央部纏の
余白が作品
の明るさを
際立たせて
いる。線も
伸びやかで
良いが、
「風」「獸」
の横画右上
がりが少
強すぎた。

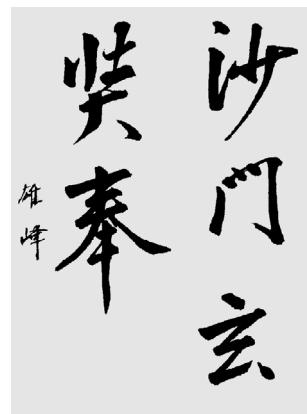
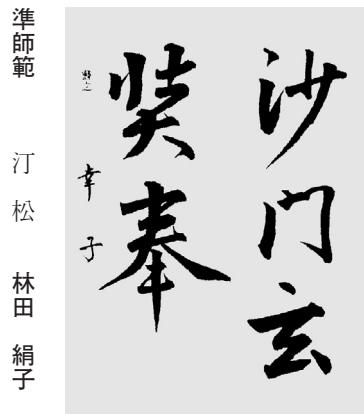
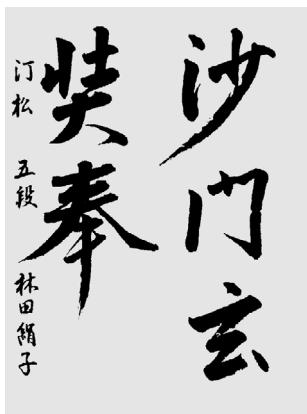
準師範 平成 栗原 智子

平成

栗原
智子

準師範 伊奈林かおる

師範 大象 新井 雄峰

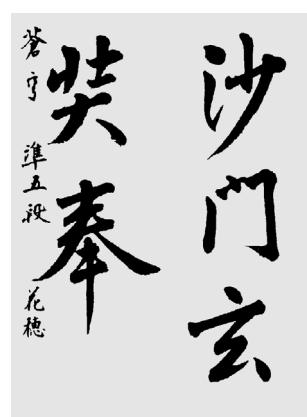
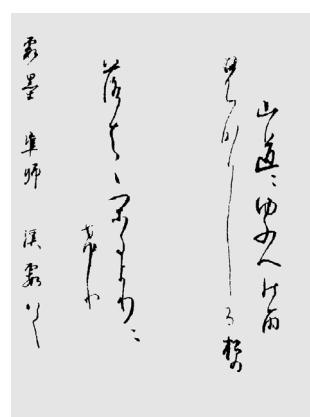
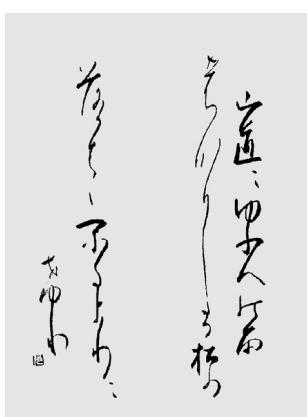


墨をたっぷりと含ませ、伸び伸びと書いて文字が躍動している。豊かな魅力的な魅力的な作品である。

スピード感のある筆運びで書かれた秀作。左の二文字がやや大きめだが、伸びやかさが勝り、生命感のある作品になった。

腕が良く動き躍动感ある作に仕上がった。筆の彈力を生かし、左右の払いも伸びやかで、全体觀も素晴らしい。

準師範 蒼穹 間宮 花穂

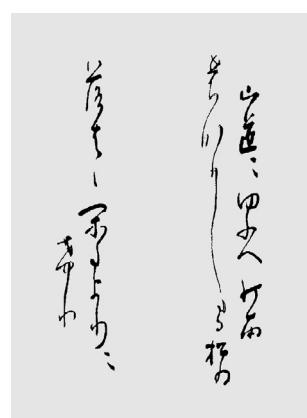
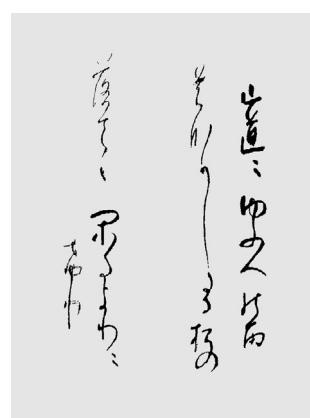
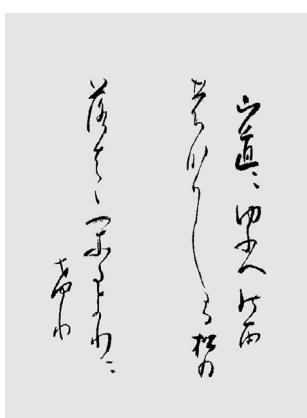


力強い筆運びと張りのある線質が魅力的な作。全体構成にも気を配り、特に落款印の位置は秀逸である。

小振りでやや長いために、行の流れも自然で美しい。

形を正確につかみ、書の筆遣いを十分生かさがある。懐も広く作品が大きく見える。

師範 珠悠 半田 知子



文字の形のみならず、僅かな線質の変化までも汲み取れる。練習された跡が表れる。墨の潤渴感が表れる。墨の潤渴感が表れる。

で大胆に書き上げた。墨の潤渴感が表れる。墨の潤渴感が表れる。

軽快なタッチでリズム良く書き上げた。墨量の変化も自然で、全体として上品にまとまっている。

第42回泰山門書展

併催春季選抜学生展



整然と展示された会場

高校生は県展に向けての基礎作りの意味もあり、古典の臨書に力を入れました。来場者からは「基本を積み上げた作品」とのお褒めの言葉をいただきました。また、「自分もこのような作品を書いてみたい」という声も聞かれ嬉しい限りでした。同日、市内でワインフェスタも開催された関係で、会場の周辺に多くの人出があり、特に子供連れの参觀者が多く、新たに興味を持つてもらうには絶好のタイミングとなりました。

市澤静山理事長からは祝電をいただき心より感謝申し上げます。また、諸先生方にも何かとご指導をいただき無事に二日間の書展を成功裡に終えることができました。ありがとうございました。

(渡辺泰琴記)

会期
五月二十日(土)～二十一日(日)
会場
塩尻市市民交流センター「えんぱーく」
主宰
笠原泰山先生

風薫り山々も深緑を増すこの五月、第四十二回展を開催いたしました。今回初の試みで、選抜された高校生の半切作品十六点を展示了。

会場中央の上條先生の「銀龍虎嘯」を中心に、一般部門下生等六十二点、学生部五十七点を展示了。小中学部は、五年生以上は半切、四年生以下は八つ切り作品として、選抜された作品を展示了。

高校生は県展に向けての基礎作りの意味もあり、古典の臨書に力を入れました。来場者からは「基本を積み上げた作品」とのお褒めの言葉をいただきました。また、「自分もこのような作品を書いてみたい」という声も聞かれ嬉しい限りでした。同日、市内でワインフェスタも開催された関係で、会場の周辺に多くの人出があり、特に子供連れの参觀者が多く、新たに興味を持つてもらうには絶好のタイミングとなりました。

2017.05.21

第34回読売書法展

役員・事務局委員一覧 (書象会関係)

◎印は主任、○印は副主任

◇企画委員 田中節山 市澤静山

◇東京展総括 田中節山

◇東京展実行委員長代行 内藤望山

◇同副実行委員長 田中節山

◇特別賞選考委員 田中節山

◇審査部長代行 田中節山

◇審査進行 田中節山

◇本年度審査員 市澤静山

◇審査部主任 小渕石峯

◇審査部委員 柳澤玄嶽

◇電算部 内藤望山

◇作品部 小川仙草

◇役員搬入部 藤森大節

・公募搬入部 小川仙草

・各展部 小川仙草

・搬出部 ○柳澤玄嶽

・搬入部 杉山窓影

・搬入部 寺尾碩雲

・搬入部 ○山口啓山

・搬入部 竹内藍山

・搬入部 藤森大節

※前月掲載の一覧表に誤りがありました。お詫びして再掲載いたします。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

二冠達成



美菜支部 中三



池田華音

私は小学三年生から書道を始め、目標としていた二冠を達成することができました。こうして目標を達成することができたのも、今まで指導して下さった先生のおかげです。本当にありがとうございました。支部長先生より一言 遠路からのお稽古よく頑張りました。学生展や書初め展等で活躍努力家の華音ちゃん、合格おめでとう。

目標達成



土筆支部 中三



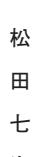
梅林遼平

小学一年生から続けていた書道で特待生になることができてうれしかったです。今まで指導をしてくださいました。先生に感謝します。支部長先生より一言 目標としていた二冠達成が出来たことを本当に嬉しく思います。小一から中三まで良く頑張りました。

二冠達成



高社支部 中二



松田七海

私は、小学校一年生から習字を習い続けました。続けていくうちにだんだん少しでも上の級に上がれるようを目指し頑張ってきました。こうして毛筆、硬筆と共に特待生になることができてとても嬉しかったです。支部長先生より一言 近頃の作品の仕上がりが大変良く、特待生らしくて嬉しく思っています。今後も期待しています。

がんばった



竹内和泉

小さい頃からコツコツ続けてきました。疲れる時もありましたが、普段使う漢字にも興味が出てきて、楽しむことができました。これからも細く長く続けて、楽役立つように頑張りたいです。ありがとうございました。

支部長先生より一言 自由な感覚で書く和泉さん。筆をとる時間をこのまま好きでいて下さい。よく見る目もつきました。

特待生になつて



咲川凜

小学一年生のときから始めて八年目、やっと硬筆で特待生になることができました。まだ毛筆では特待生になつていないので、たくさん努力して、中学生の間に二冠達成したいです。

支部長先生より一言 いつも黙々と課題に取組む姿が印象的。左利きとは思えない頑張りやさん。あと一步前進ね。ガンバ。

まだまだがんばろう



上尾支部 中三



長谷川勇太

いつも楽しく書道をさせて頂き、ありがとうございました。先生が、いつも優しく教えて下さったので特待生を取得出来るまで続けて来られました。感謝！これからはより一層厳しいご指導よろしくお願いします。

高校でも頑張ります。

支部長先生より一言 念願の高校に合格。お稽古は休まず頑張りました。高校でも目標を高くして書との両立を望みます。

感謝



名東支部 中三



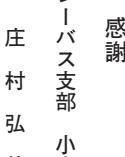
蝶川愛夕

私は小学校一年生から習字を習いはじめました。中学生になりお休みすることが多くありました。特待生になることができとても嬉しいです。ご生じになることがあります。本当にありがとうございます。松村先生、ご指導ありがとうございました。支部長先生より一言 合格おめでとう。黙々と書く姿が印象的で、中学生からの上達におどろきました。更なる飛躍を期待！！

特待生合格

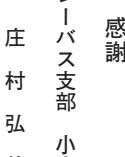


中野支部 中二



畠実佑

先生に、感謝



シーバス支部 小六

一年から書道を始めた私は、バスケも習いながら、書道を続けました。なかなか上手くかけない時も、先生は熱心に教えてくださり、この特待生合格は、先生のおかげです。本当に、先生には感謝しきれません！

支部長先生より一言 小さい時から何事にも一生懸命で書道も沢山練習していましたね。中学受験もししながらよく頑張りました。

支部長先生より一言 大雪の日もお母さんの送迎でよく頑張りました。妹さん思いのやさしいお姉様です。期待しています。

今月の優秀作品



△漢字条幅△

評 大澤梢光

中田秀麗 全体觀よく、線質も爽やかな上品な佳作。

塚原花瑠 筆勢があり、軽快で伸びやかな秀作。

藤牧峰雪 清冽な線質は群を抜く、若々しい作品。

中田皓花 豊潤な雰囲気で落ち着きのある上品な佳作。

有賀蒼玄 濃墨で形も正確。全体構成も見事である。

湯本静澄 大胆な運筆でスケール雄大な力強い作。

小林真志 切れ味の良い線で全体感よくまとめた。

及川翠花 伸びのある線で雄大に仕上げられた作。

△隨意条幅△ 評 久保 妍山

大賀霞泉 濃淡の変化をつけ、動きのある線質。佳。

鈴木花仙 全体感よくまとめている作。この調子で、形が忠実に書いていて安定感のある作品。

渋谷静秀 一貫した書きぶりで、すがすがしい。

長谷川石心 豊かで重厚な線、正しい

平野壺桜 隸法の把握秀作。筆の開閉が自在、この大膽さよし。

基本課題

評 二瓶 嶽風

唱 静 哉 強さを内に秘めて、品位高く仕上げた。
翠 山 伸びやかな線で、雄大さを見せた秀作。
光 扇 逆筆の効いた目の覚めるような強さ大佳。
華 含墨が効果的で、左払いが美しい作。

杏 村 又 杏 村 又

爪 雪 所 爪 雪 所

杏 村 又 杏 村 又

爪 雪 所 爪 雪 所

洛陽ノ女兒顏色

洛陽ノ女兒顏色

洛陽ノ女兒顏色

洛陽ノ女兒顏色

ア惜シミ行ニ
落花ニ達アテ
長ノ歎息ア豆葉

觀自在 觀自在

菩薩行 菩薩行

觀自在 觀自在

菩薩行 菩薩行

菩薩行 菩薩行

菩薩行 菩薩行

觀自在 觀自在

菩薩行 菩薩行

觀自在 觀自在

菩薩行 菩薩行

觀自在 觀自在

菩薩行 菩薩行

菩薩行 菩薩行

菩薩行 菩薩行

觀自在 觀自在

菩薩行 菩薩行

玄 然

師 真 意

玄 然

玄 然

高 風

玄 然

文 化

精 华

古典研究
研究課題

評 虎井 暁鐘

評 久保 妍山

上條賢山 太い線で大胆な筆致。印象的な秀作だ。
上條恵香 文字の大小長短潤渴。作品的な秀作だ。
山崎惜春 細部まで写実に徹して格調高い仕上り。
大塚貞翠 行の流れにリズムがあり軽快な秀作だ。
山田白葉 流れの中に確かな骨力あり、全体感佳。

古典研究
研究課題

評 柳澤 玄嶽

評 岩本秋麗

中内真意 細部まで神経が通って、強靭な骨格有り。
小暮静翠 潤いのある豊かな線、正しい形把握も可。
佐藤茜沙 鋒先の効いた、軽快で動きある筆致佳。
松尾小楓 静かな書き、繊細な筆致 懐広い形佳。
山田白葉 流れの中に確かな骨力あり、全体感佳。
大山節華 鋒先の効いた、軽快で動きある筆致佳。
岡本秋麗 筆の角度良く、紙面への食い見事。
古川琇光 墨量豊かで、全体感が佳く、調和も見事。

評 柳澤 玄嶽

△仮名▽

評 宮本 耕成

井上雅幸 澄み切った線、大胆な運筆で秀作。

三沢泰仙 割れた線が自然で、流れも見事。

吉田谿沙 スピード感のある鋭い線が魅力的。

森村湖亭 大胆な運筆で貫通力のある作品。

西瀬斎花 軽快なタッチで明るい作品に仕上がった。

町田玉香 字形も整い連绵の流れも安定している。

松山禎子 さわやかな線質で格調の高い作品。

福山京江 紙面を圧倒するような力強い線は見事。

照 悅 形が整っており、躍动感のある秀作。

星野直子 思い切った潤渴が効果的で、余白の妙佳。

坪井名扇 遅速緩急のある線で、一気に書き上げた。

北川高月 形を正確に捉え、丁寧に書いている。

川本敦子 直線的で位置・大きさ・形良くまとめた。

田中翠花 粘り強く沈着な筆遣い。爽快さ溢れる作。

齋藤壺進 清冽な線の流れと確かに腕法で安定感有り。

加藤穆舟 正確で安定した真面目な書きぶり好感。

田島涛仙 自在な筆遣いで鋒先が効きリズム感有り。

小西琴月 重厚な中に粘りと甘さを兼ね備えた佳作。

杉本千景 写実的で誠実な作。余白も明るく格調高し。

中島泰薰 正確かつ静かな動きで瀟洒で品良い作。

学 生 部

評 杉山 窓影

長谷川舞香 堂々として隅々まで行き届いている作。

中村莉彩 余白の美しさを持つている秀作。

山下典剛 基本をしっかりととらえている佳作。

相崎良介 強い線でじっくりと形を作った作。

奥口陽平 バランスのとれた静かな秀作。

伊藤小雪 中心をしっかりと見て伸びやかな線質。

若菜 翠 難しい課題を上手に仕上げている。

三浦航太朗 素直で落ち着いた良い作品。

宮澤香帆 一つ一つの字形が正しく書けている。

落合沙衣 全体のまとめ方が上手で明るい作。

新海鈴菜 太くしつかりとしてたいへん良い。

菊地ゆめ かたちも太さも名まえもとても良い。

平居みなみ おちついてゆっくりとかけてすばらしい。

酒井美空 いっしょにけんめいかんがえて書けた。

三平清加 どうどうとかたちよく書けている。

山崎理心 のびやかで力づよい。

半紙隨意

評 小川 仙草

山岡理乃 大らかな書き振りで、重量感もあり秀作。

荒木真結 一点一画ていねいに書いてよくまとめた。

柳澤心美 太さのある重厚な線で力強く書けました。

藤崎竜也 力いっぱいげんきよくかけました。

このページに掲載された人には書象会より記念の
筆をさし上げます。

愛情

必要

思

生

いみら

いみら

かさ

かき

美化

美しい花

入り

入り

不言

実行

調べ

調べ

個人と社会

個人と社会

訪問

訪問

中三
理乃

小二
平居
みなみ

小四
宮澤
香帆

小六
奥口
陽平

上尾
中二
花舞
香

伊奈
小六
荒木
真結

小二
さくい
み空

小四
落合
沙衣

小雪

中二
莉彩

四年
柳澤
心美

二下
さくや

小三
新海
鉢菜

翠

後川
七枝
山下
典剛

小二
たつ
也

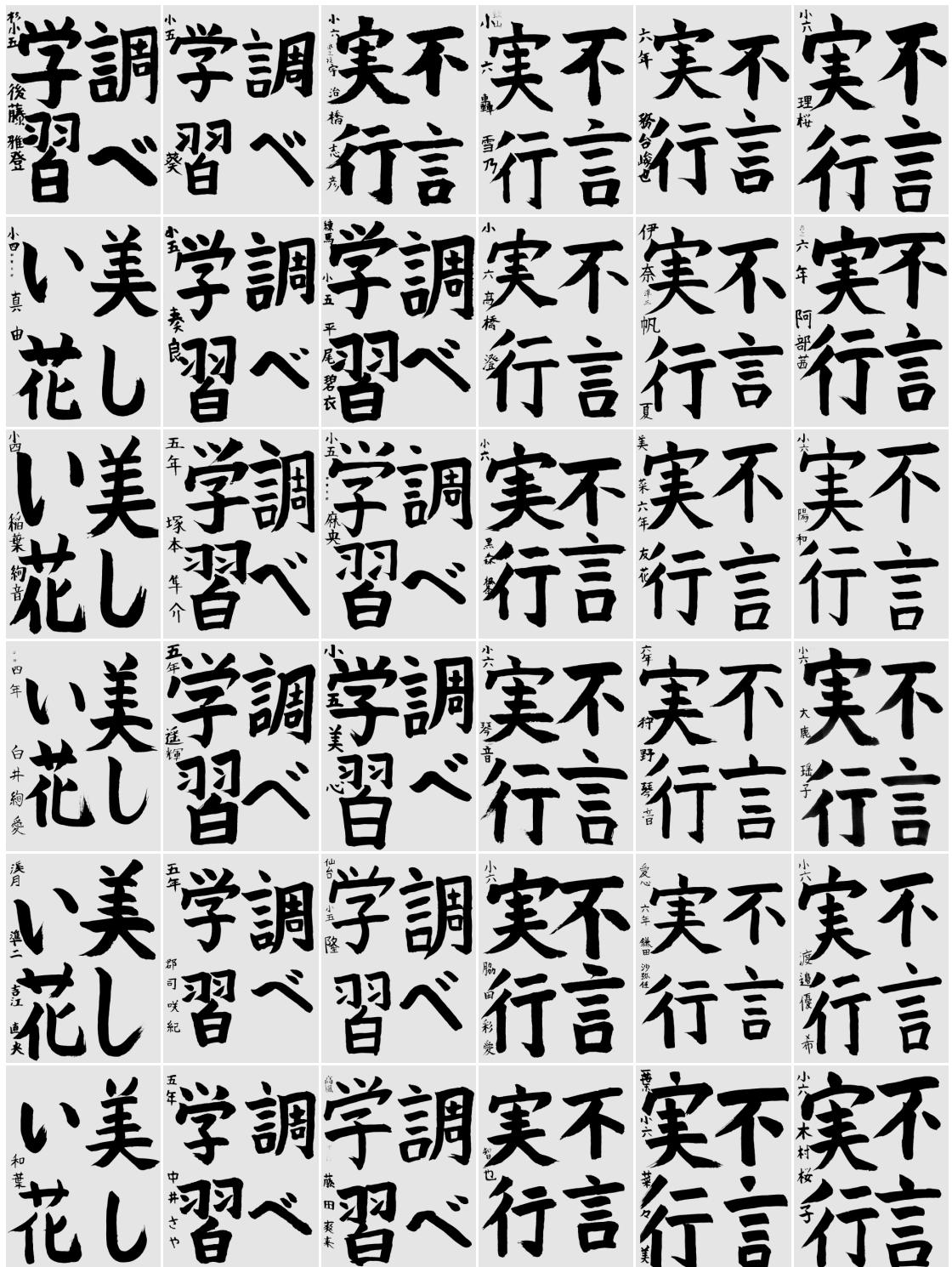
一級
山
や
り
こ

三年
葡萄
ゆめ

五年
三浦
航太朗

中一
相
崎
良介

毛筆	中央	右文	龍文	霞墨	みな	須坂	船橋	華雪	華雪	船橋	中央
筆	上野山	小平山	平山	小山	佐藤	山崎	田内	茅野	花皓	名東	中央
佳乃	蘭子	優芽	夏輝	山愛	月蘆	東	有泉	若山	山	坂	右文
佐藤	蘭			土筆	花蓮	陽東	高須	有	崎	霞	毛筆
山崎				山	成平	練馬	須	泉	坂	墨	筆
玻璃子				愛山	默玄	和扇	坂	穂有	坂	右文	毛筆
若葉				馬練	雪華	和	坂	穗有	坂	霞	筆
小六	玄默	千曲	折原	原硯	玄默	和	坂	穂有	坂	墨	毛筆
小六	吉川	上屋敷	有也	吉川	吉川	和	坂	穂有	坂	右文	毛筆
珠悠	長野	佐木野	有也	佐木野	佐木野	和	坂	穂有	坂	霞	筆
城彩	塚崎	秋保	有也	秋保	秋保	和	坂	穂有	坂	墨	毛筆
大象	鈴木	細貝	由菜	路清	路清	和	坂	穂有	坂	右文	毛筆
竹華	紅葉	詩音	董	遥	遥	和	坂	穂有	坂	霞	筆





花象	秀雪	光丘	皓花	虹友	霞雪	松聲	峰	華雪	綾華	富士	宮川	皓花	春	柏心	秀雪	書之	龍文	美二	小一
高橋	原	岩立	酒井	青柳	蒲	河嶋	奧田	富井	山城	下畑	秋山	大澤	三木	清治	寺山	岡野	安西	心音	小二
理彩	夕誠	依瑞	千步	百花	里奈	本絵	智仁	智仁	雄飛	七桜	龍生	琢磨	万純	夢	眞子	瑛太	心優	遥香	心
			山口	すばる		湯本	結女	結女							玲香	由華	可英	成実	
			立			美月									与那城	舞	連		

か	に	あ
か	き	め
れ	の	
た	い	あ
な	な	と
美		
五	に	
川		
二		
み	じ	そ
す	が	う

あや／＼おれの言葉を
気持ちをつけて、いね
に書きました。
多田琴美

あいへやお礼の言葉を
気持ちをこめて、ねー^一
に書きました。^二八潮先生四半期報
田中亞美

当地では新緑の中にホトトギス
が鳴きはじめ、麦の黄波の風景
はまるで絵のようだ。赤塚景鑑
表やケラフを使って、調べた
ことを分かりやすくまとめ、
発表しよう。

眞の知識の泉は書物では
なく生活であり経験であり
して行動である。岩竹 师範
春月 月生

か	に	あ
か	き	め
か	れ	の
た	い	あ
た	ま	と
山	に	、
森	じ	そ
田	そ	、
内	が	ら
里	ら	、

か	に	あ
か	き	め
か	れ	の
た	い	あ
た	。	な
な	と	、
に		
じ		そ
が		ら

あいさつやお礼の言葉を
気持ちをこめて、ていねい
に書きました。名前 井伊 葉 様

表やグラフを使って調べたことを分かりやすくまとめ、発表しよう。

か	に	あ
か	き	め
?	れ	の
た	い	あ
。	な	と

か	に	あ
か	き	め
れ	の	
た	い	あ
。	な	ど

あいせつやお詞の言葉を
気持ちをこめてていねい
に書きました。サムライ 三編
名前 松尾 紗由季

表やグラフを使って調べたことを分かりやすくまとめて発表しよう。

人間関係が希薄になつてゐる今、この時代に最も大切なことは思ひやりである。

硬筆

中	學	原	口	佳	代	子
大	田	茅	野	霞	雅	名
静	翠	野	墨	北	東	東
·	五	·	六	府	雅	菜
岩	原	赤	堀	駒	坪	山
菊	池	佐	藤	井	口	田
千	尋	景	澄	心	花	純
		光		葉	音	寧
					小	雪
華	雪	美	五	この	倭	八
山	愛	玄	黙	【	サ	潮
平	岡	高	森	【	ン	田
		玉	川	二	美	村
		森	み	】	那	朋
		田	すず			花
			乃			
華			申			

表やケラフを使って調べたことを分かりやすくまとめて、発表しよう。

当地では新緑の中にホトトギス
が鳴きはじめ、麦の黄波の風景
はまるで絵のようだ。名東中二特待生
山田純寧

愛磯東葉長中皓中秀船汀華石船優¹ 竹笠忠城船富練玄千² 大有文花長一大東³ 皓八晏華唯瀨書笠さ平一柏大⁴ 杏玄優勝千自照松小曉心恨根月寿野花野雪峯橋生⁵ 華原摩彩橋貴特馬默曲象象化雲野絵内根花南墨雪心戸集原わ成路芳象黙生木曲產澤戸平月

鬼石那三岡山二清大神松安唐伊大高石清高池級酒中安田宇渢大永寺畠宗中秋北清落後五古安昌小伊村安鈴山塚金高清宇山青山小高羽阿十井須木澤田⁶ 水井谷村部津月鷲沼橋井本田橋上井村藤中田谷塚井橋澤昇像川保口村水合藤十本藤山山藤山彦木口越森橋野田崎木口松橋山部加千大太利さ寺美宣朋友ひ由晴瞳有明和伊真美患と直由百川和晴信弘子半育多梢彌由早大嵐患ち和田鉢直直有菜草⁷ 皇川晶直博愛美淳通

小杉若曉麗美小一平秀光山中伊照美汀星秀笠横大富玄八東大玄⁸ 華汀⁹ 英笠秀中紅皓長大玄一花兒晩八華大¹⁰ 玄富大小笠沙秀秋光月松月墨苑平路成雪丘¹¹ 一愛野墨澤菜楓雪原二內士心戸根淀松雪松二原雪野竹花寿象黙葉心象月潮雪阪特樸貴阪光原雪石平原羅雪川

西中東後高中山佐遠今友紺佐藤植根松河鈴山米横小道高鈴森小松稻向渡原中下林井荻稻中富本藤小門落級¹² 竹町井市秋宮寶簾山松¹³ 柳松川山岡藤田原中藤山國野谷藤澤藤本木本西木本山笠谷喜橋木本暮藤葉井田嶋垣愛向田岡里田間平林聯合川之寿上川谷下河井村中澤原夏香瑞倫岳笑映上真和紀未米紀郎郁萌和奈瑞玲渦彩原華正真里み千藤芽真美彩ル美柔孝法菜亮幸寛朱陽良梨内喜和沙賢如原和優廉丹希

美若笠中游泊碩曉晴歌美大久四備大玄須¹⁴ 華瑞瀬千長靜大美高玄長笠葉華中玄中成珠一笠杉右杉書大書李八水杉有土船富一サハ神飯晏笠苑宮原央墨芳¹⁵ 3月雲美月墨田喜谷後淀成坂雪祥戸曲野阪二風心野原月雪2野黙勢城紅路原文集手集光潮代象筆橋貴路ノ戸奈田墨原

吉增寺伊萬羽級黛周石山小山柳高近岸豊田大久一吉小笠武宗谷宇松手小吉¹⁶ 級湯小浦酒一森加古津片橋久石金田水長越難小波一平田内北佐平宮岡原島藤田田ひ吳澤岡森田田杉藤本原鍋久保丸川山井居千脇城本塚坂原木本石田井慶藤川村川野保川子口野戸谷波山多糸山名野原々林原智東干亞悠龍よ婷卓美朱里朋優ア早由隆保田す貞直瑞典立利加惠奈永祐瓊あ恵久実子悠節星精祥祐静龍順彩智信優華ひ慶部由み木か桜

柏硯華倚練さ玄柏成書備富月桜木大玄錦富大美¹⁷ 柏船華笠草名古皓有¹⁸ 北葉玄若船華美碩若秋珠李秀山若柏霞皓柏竹大大美一玄長大硯心雪馬¹⁹ 5歳芳城集後土森阪心黃土阪二芳橋雪原雪川東土の花象府月櫻竹橋雪²⁰ 4雲宮川紅光雪愛松芳墨花芳華淀井那絃心寿象扇

吉三斎宇松阿級川大豐河鶴鈴神征野大加柳岩立上竹平中手村野渡高多和小竹星相堀安本栗粟²¹ 大坂桜樓稿古佐真塚渡竹染佐池又真柳今田今池谷藤野山部口闕田野武木崎矢住田藤澤野崎川條田野塙田井邊橋賀田林村野澤内都部原出工村本見井賀篠田藤嶺内谷々田²² 墓澤中井田愛理曉育聰記啓多真禮和體沙野三真真棄和加愛美麻希智卓真麻文晴拓ナ里文彩由原翁縉香子惠千瑞仁良愛²³ 美教木惠ス佳早久万優

練美東名有瑞大瀬珠²⁴ 笠光秀八成宴練柏龍²⁵ 楊柏²⁶ 桂²⁷ 一神泉²⁸ 笠成笠²⁹ 大美練曉大³⁰ 山静玄李靜船上若霞玄光珠辰星一富帶成大馬五根東穂祥手戸紅原丘雪潮城墨馬心³¹ 6文二心路龍吉雪野祥雪淀華原城原阪二馬月淀愛燿光橋尾竹墨樺丘紅絵貴中城井

白廣那蛭山服伊藤瀬唐牛水肥輪高中平熊吉級中松小丸吉松大山三渡横宮緒齋猿上酒手廣今穴牛稻中佐大蒲下原山大長平小徳岩千朝上加平美高赤澤部須川下部藤澤山野田木井有谷原村崎林山澤尾村田上部倉下方藤田井垣西藤楓原枝敬田橋谷井林懸立葉久藤野惠戸近麻優勇愛大校友和鯉目真靖來二秀カリ利凜萌薰莉覚幸朋し爽伊容源莉尚葵朱美信麻千惠³² 春昌住文茂美峯二達峻勇里由陽明美日保杏瑞子牧佐

大秋³³ 杉大玄華美八³⁴ 光晴竹倚北柏富サ八蒲高茜有龍和有珠光晴珠³⁵ 秀杉観³⁶ 笠青³⁷ 笠倭光宝柏茅飯泉珠³⁸ 大船霞大暁さ平飯淀川³⁹ 路手黙雪一潮丘美華雲府芳土⁴⁰ 單潮社⁷ 象文穗悠丘美悠雪扇原雲原丘春心野山華悠淀橋墨手月わ成山

柱大市柳成山根磯三平清榎鈴須川野神伏豊中玉渡齊神深級吉高清奥檀半須田奥平上石八小林藤秀柳鈴長高堀横飯湯小丸寺石木佐藤宮豊羽清山橋本熊村下瀬谷津部輪山水木本上田田澤木本井田松原山木本上部倉下方藤田井垣西藤楓原枝敬田橋谷井林懸立葉久藤野惠戸近麻優勇愛大校友和鯉目真靖來二秀カリ利凜萌薰莉覚幸朋し爽伊容源莉尚葵朱美信麻千惠³² 春昌住文茂美峯二達峻勇里由陽明美日保杏瑞子牧佐

光北若⁴¹ 優若美⁴² 宝美⁴³ 大中長八静葉北秀一月一書瓦竹玄若大高光秀一千中八珠竹⁴⁴ 大玄杉龍美大墨苑原阪燿雪样松寿仙仙家ノ淀丘府松仙苑手穗央野草湖翠月府雪葉葉集二華模松淀風丘雪絵曲央潮悠華⁴⁵ 8阪黙文二阪新木橋渡小植尾田下か節田井戸原野松澤島本林田橋邊澤田井橋詩島原本上千島澤本島村田土島之浦足岸千本上納岡谷水木田根田部田島田谷下本會草藤さ智り子信法洋恵ア沙美実千弥納優結愛那由明美英音咲美桃佳恵智夢幹節夏彩幸夢池碧頃涼秋麻真英胡興弘詩彗瑠早乃⁴⁶ 汝恭川研由然尚薰了

サ伊葉⁴⁷ 珠磯⁴⁸ 玄⁴⁹ 宮伊平新松京横八須桜文杉⁵⁰ ン那月⁵¹ 紅辺⁵² 錠⁵³ 地那成城戸⁵⁴ 池坂森化五板⁵⁵ 段名⁵⁶ 石伊小渡井内古土権信中伊要渡杉齊森光白林川澤⁵⁷ 仁⁵⁸ 野原⁵⁹ 本⁶⁰ 木久⁶¹ 娥⁶² 美⁶³ 谷⁶⁴ 陽珠⁶⁵ 月葉⁶⁶ 凤⁶⁷ 子⁶⁸ 真⁶⁹ 智⁷⁰ 曝⁷¹ 伊⁷² 扇⁷³ 蓼⁷⁴ 保⁷⁵ 舟⁷⁶

光北若⁷⁷ 優若美⁷⁸ 宝⁷⁹ 光北若⁸⁰ 優若美⁸¹ 宝⁸² 光北若⁸³ 優若美⁸⁴ 宝⁸⁵ 光北若⁸⁶ 優若美⁸⁷ 宝⁸⁸ 光北若⁸⁹ 優若美⁹⁰ 宝⁹¹ 光北若⁹² 優若美⁹³ 宝⁹⁴ 光北若⁹⁵ 優若美⁹⁶ 宝⁹⁷ 光北若⁹⁸ 優若美⁹⁹ 宝¹⁰⁰ 光北若¹⁰¹ 優若美¹⁰² 宝¹⁰³ 光北若¹⁰⁴ 優若美¹⁰⁵ 宝¹⁰⁶ 光北若¹⁰⁷ 優若美¹⁰⁸ 宝¹⁰⁹ 光北若¹¹⁰ 優若美¹¹¹ 宝¹¹² 光北若¹¹³ 優若美¹¹⁴ 宝¹¹⁵ 光北若¹¹⁶ 優若美¹¹⁷ 宝¹¹⁸ 光北若¹¹⁹ 優若美¹²⁰ 宝¹²¹ 光北若¹²² 優若美¹²³ 宝¹²⁴ 光北若¹²⁵ 優若美¹²⁶ 宝¹²⁷ 光北若¹²⁸ 優若美¹²⁹ 宝¹³⁰ 光北若¹³¹ 優若美¹³² 宝¹³³ 光北若¹³⁴ 優若美¹³⁵ 宝¹³⁶ 光北若¹³⁷ 優若美¹³⁸ 宝¹³⁹ 光北若¹⁴⁰ 優若美¹⁴¹ 宝¹⁴² 光北若¹⁴³ 優若美¹⁴⁴ 宝¹⁴⁵ 光北若¹⁴⁶ 優若美¹⁴⁷ 宝¹⁴⁸ 光北若¹⁴⁹ 優若美¹⁵⁰ 宝¹⁵¹ 光北若¹⁵² 優若美¹⁵³ 宝¹⁵⁴ 光北若¹⁵⁵ 優若美¹⁵⁶ 宝¹⁵⁷ 光北若¹⁵⁸ 優若美¹⁵⁹ 宝¹⁶⁰ 光北若¹⁶¹ 優若美¹⁶² 宝¹⁶³ 光北若¹⁶⁴ 優若美¹⁶⁵ 宝¹⁶⁶ 光北若¹⁶⁷ 優若美¹⁶⁸ 宝¹⁶⁹ 光北若¹⁷⁰ 優若美¹⁷¹ 宝¹⁷² 光北若¹⁷³ 優若美¹⁷⁴ 宝¹⁷⁵ 光北若¹⁷⁶ 優若美¹⁷⁷ 宝¹⁷⁸ 光北若¹⁷⁹ 優若美¹⁸⁰ 宝¹⁸¹ 光北若¹⁸² 優若美¹⁸³ 宝¹⁸⁴ 光北若¹⁸⁵ 優若美¹⁸⁶ 宝¹⁸⁷ 光北若¹⁸⁸ 優若美¹⁸⁹ 宝¹⁹⁰ 光北若¹⁹¹ 優若美¹⁹² 宝¹⁹³ 光北若¹⁹⁴ 優若美¹⁹⁵ 宝¹⁹⁶ 光北若¹⁹⁷ 優若美¹⁹⁸ 宝¹⁹⁹ 光北若²⁰⁰ 優若美²⁰¹ 宝²⁰² 光北若²⁰³ 優若美²⁰⁴ 宝²⁰⁵ 光北若²⁰⁶ 優若美²⁰⁷ 宝²⁰⁸ 光北若²⁰⁹ 優若美²¹⁰ 宝²¹¹ 光北若²¹² 優若美²¹³ 宝²¹⁴ 光北若²¹⁵ 優若美²¹⁶ 宝²¹⁷ 光北若²¹⁸ 優若美²¹⁹ 宝²²⁰ 光北若²²¹ 優若美²²² 宝²²³ 光北若²²⁴ 優若美²²⁵ 宝²²⁶ 光北若²²⁷ 優若美²²⁸ 宝²²⁹ 光北若²³⁰ 優若美²³¹ 宝²³² 光北若²³³ 優若美²³⁴ 宝²³⁵ 光北若²³⁶ 優若美²³⁷ 宝²³⁸ 光北若²³⁹ 優若美²⁴⁰ 宝²⁴¹ 光北若²⁴² 優若美²⁴³ 宝²⁴⁴ 光北若²⁴⁵ 優若美²⁴⁶ 宝²⁴⁷ 光北若²⁴⁸ 優若美²⁴⁹ 宝²⁵⁰ 光北若²⁵¹ 優若美²⁵² 宝²⁵³ 光北若²⁵⁴ 優若美²⁵⁵ 宝²⁵⁶ 光北若²⁵⁷ 優若美²⁵⁸ 宝²⁵⁹ 光北若²⁶⁰ 優若美²⁶¹ 宝²⁶² 光北若²⁶³ 優若美²⁶⁴ 宝²⁶⁵ 光北若²⁶⁶ 優若美²⁶⁷ 宝²⁶⁸ 光北若²⁶⁹ 優若美²⁷⁰ 宝²⁷¹ 光北若²⁷² 優若美²⁷³ 宝²⁷⁴ 光北若²⁷⁵ 優若美²⁷⁶ 宝²⁷⁷ 光北若²⁷⁸ 優若美²⁷⁹ 宝²⁸⁰ 光北若²⁸¹ 優若美²⁸² 宝²⁸³ 光北若²⁸⁴ 優若美²⁸⁵ 宝²⁸⁶ 光北若²⁸⁷ 優若美²⁸⁸ 宝²⁸⁹ 光北若²⁹⁰ 優若美²⁹¹ 宝²⁹² 光北若²⁹³ 優若美²⁹⁴ 宝²⁹⁵ 光北若²⁹⁶ 優若美²⁹⁷ 宝²⁹⁸ 光北若²⁹⁹ 優若美³⁰⁰ 宝³⁰¹ 光北若³⁰² 優若美³⁰³ 宝³⁰⁴ 光北若³⁰⁵ 優若美³⁰⁶ 宝³⁰⁷ 光北若³⁰⁸ 優若美³⁰⁹ 宝³¹⁰ 光北若³¹¹ 優若美³¹² 宝³¹³ 光北若³¹⁴ 優若美³¹⁵ 宝³¹⁶ 光北若³¹⁷ 優若美³¹⁸ 宝³¹⁹ 光北若³²⁰ 優若美³²¹ 宝³²² 光北若³²³ 優若美³²⁴ 宝³²⁵ 光北若³²⁶ 優若美³²⁷ 宝³²⁸ 光北若³²⁹ 優若美³³⁰ 宝³³¹ 光北若³³² 優若美³³³ 宝³³⁴ 光北若³³⁵ 優若美³³⁶ 宝³³⁷ 光北若³³⁸ 優若美³³⁹ 宝³⁴⁰ 光北若³⁴¹ 優若美³⁴² 宝³⁴³ 光北若³⁴⁴ 優若美³⁴⁵ 宝³⁴⁶ 光北若³⁴⁷ 優若美³⁴⁸ 宝³⁴⁹ 光北若³⁵⁰ 優若美³⁵¹ 宝³⁵² 光北若³⁵³ 優若美³⁵⁴ 宝³⁵⁵ 光北若³⁵⁶ 優若美³⁵⁷ 宝³⁵⁸ 光北若³⁵⁹ 優若美³⁶⁰ 宝³⁶¹ 光北若³⁶² 優若美³⁶³ 宝³⁶⁴ 光北若³⁶⁵ 優若美³⁶⁶ 宝³⁶⁷ 光北若³⁶⁸ 優若美³⁶⁹ 宝³⁷⁰ 光北若³⁷¹ 優若美³⁷² 宝³⁷³ 光北若³⁷⁴ 優若美³⁷⁵ 宝³⁷⁶ 光北若³⁷⁷ 優若美³⁷⁸ 宝³⁷⁹ 光北若³⁸⁰ 優若美³⁸¹ 宝³⁸² 光北若³⁸³ 優若美³⁸⁴ 宝³⁸⁵ 光北若³⁸⁶ 優若美³⁸⁷ 宝³⁸⁸ 光北若³⁸⁹ 優若美³⁹⁰ 宝³⁹¹ 光北若³⁹² 優若美³⁹³ 宝³⁹⁴ 光北若³⁹⁵ 優若美³⁹⁶ 宝³⁹⁷ 光北若³⁹⁸ 優若美³⁹⁹ 宝⁴⁰⁰ 光北若⁴⁰¹ 優若美⁴⁰² 宝⁴⁰³ 光北若⁴⁰⁴ 優若美⁴⁰⁵ 宝⁴⁰⁶ 光北若⁴⁰⁷ 優若美⁴⁰⁸ 宝⁴⁰⁹ 光北若⁴¹⁰ 優若美⁴¹¹ 宝⁴¹² 光北若⁴¹³ 優若美⁴¹⁴ 宝⁴¹⁵ 光北若⁴¹⁶ 優若美⁴¹⁷ 宝⁴¹⁸ 光北若⁴¹⁹ 優若美⁴²⁰ 宝⁴²¹ 光北若⁴²² 優若美⁴²³ 宝⁴²⁴ 光北若⁴²⁵ 優若美⁴²⁶ 宝⁴²⁷ 光北若⁴²⁸ 優若美⁴²⁹ 宝⁴³⁰ 光北若⁴³¹ 優若美⁴³² 宝⁴³³ 光北若⁴³⁴ 優若美⁴³⁵ 宝⁴³⁶ 光北若⁴³⁷ 優若美⁴³⁸ 宝⁴³⁹ 光北若⁴⁴⁰ 優若美⁴⁴¹ 宝⁴⁴² 光北若⁴⁴³ 優若美⁴⁴⁴ 宝⁴⁴⁵ 光北若⁴⁴⁶ 優若美⁴⁴⁷ 宝⁴⁴⁸ 光北若⁴⁴⁹ 優若美⁴⁵⁰ 宝⁴⁵¹ 光北若⁴⁵² 優若美⁴⁵³ 宝⁴⁵⁴ 光北若⁴⁵⁵ 優若美⁴⁵⁶ 宝⁴⁵⁷ 光北若⁴⁵⁸ 優若美⁴⁵⁹ 宝⁴⁶⁰ 光北若⁴⁶¹ 優若美⁴⁶² 宝⁴⁶³ 光北若⁴⁶⁴ 優若美⁴⁶⁵ 宝⁴⁶⁶ 光北若⁴⁶⁷ 優若美⁴⁶⁸ 宝⁴⁶⁹ 光北若⁴⁷⁰ 優若美⁴⁷¹ 宝⁴⁷² 光北若⁴⁷³ 優若美⁴⁷⁴ 宝⁴⁷⁵ 光北若⁴⁷⁶ 優若美⁴⁷⁷ 宝⁴⁷⁸ 光北若⁴⁷⁹ 優若美⁴⁸⁰ 宝⁴⁸¹ 光北若⁴⁸² 優若美⁴⁸³ 宝⁴⁸⁴ 光北若⁴⁸⁵ 優若美⁴⁸⁶ 宝⁴⁸⁷ 光北若⁴⁸⁸ 優若美⁴⁸⁹ 宝⁴⁹⁰ 光北若⁴⁹¹ 優若美⁴⁹² 宝⁴⁹³ 光北若⁴⁹⁴ 優若美⁴⁹⁵ 宝⁴⁹⁶ 光北若⁴⁹⁷ 優若美⁴⁹⁸ 宝⁴⁹⁹ 光北若⁵⁰⁰ 優若美⁵⁰¹ 宝⁵⁰² 光北若⁵⁰³ 優若美⁵⁰⁴ 宝⁵⁰⁵ 光北若⁵⁰⁶ 優若美⁵⁰⁷ 宝⁵⁰⁸ 光北若⁵⁰⁹ 優若美⁵¹⁰ 宝⁵¹¹ 光北若⁵¹² 優若美⁵¹³ 宝⁵¹⁴ 光北若⁵¹⁵ 優若美⁵¹⁶ 宝⁵¹⁷ 光北若⁵¹⁸ 優若美⁵¹⁹ 宝⁵²⁰ 光北若⁵²¹ 優若美⁵²² 宝⁵²³ 光北若⁵²⁴ 優若美⁵²⁵ 宝⁵²⁶ 光北若⁵²⁷ 優若美⁵²⁸ 宝⁵²⁹ 光北若⁵³⁰ 優若美⁵³¹ 宝⁵³² 光北若⁵³³ 優若美⁵³⁴ 宝⁵³⁵ 光北若⁵³⁶ 優若美⁵³⁷ 宝⁵³⁸ 光北若⁵³⁹ 優若美⁵⁴⁰ 宝⁵⁴¹ 光北若⁵⁴² 優若美⁵⁴³ 宝⁵⁴⁴ 光北若⁵⁴⁵ 優若美⁵⁴⁶ 宝⁵⁴⁷ 光北若⁵⁴⁸ 優若美⁵⁴⁹ 宝⁵⁵⁰ 光北若⁵⁵¹ 優若美⁵⁵² 宝⁵⁵³ 光北若⁵⁵⁴ 優若美⁵⁵⁵ 宝⁵⁵⁶ 光北若⁵⁵⁷ 優若美⁵⁵⁸ 宝⁵⁵⁹ 光北若⁵⁶⁰ 優若美⁵⁶¹ 宝⁵⁶² 光北若⁵⁶³ 優若美⁵⁶⁴ 宝⁵⁶⁵ 光北若⁵⁶⁶ 優若美⁵⁶⁷ 宝⁵⁶⁸ 光北若⁵⁶⁹ 優若美⁵⁷⁰ 宝⁵⁷¹ 光北若⁵⁷² 優若美⁵⁷³ 宝⁵⁷⁴ 光北若⁵⁷⁵ 優若美⁵⁷⁶ 宝⁵⁷⁷ 光北若⁵⁷⁸ 優若美⁵⁷⁹ 宝⁵⁸⁰ 光北若⁵⁸¹ 優若美⁵⁸² 宝⁵⁸³ 光北若⁵⁸⁴ 優若美⁵⁸⁵ 宝⁵⁸⁶ 光北若⁵⁸⁷ 優若美⁵⁸⁸ 宝⁵⁸⁹ 光北若⁵⁹⁰ 優若美⁵⁹¹ 宝⁵⁹² 光北若⁵⁹³ 優若美⁵⁹⁴ 宝⁵⁹⁵ 光北若⁵⁹⁶ 優若美⁵⁹⁷ 宝⁵⁹⁸ 光北若⁵⁹⁹ 優若美⁶⁰⁰ 宝⁶⁰¹ 光北若⁶⁰² 優若美⁶⁰³ 宝⁶⁰⁴ 光北若⁶⁰⁵ 優若美⁶⁰⁶ 宝⁶⁰⁷ 光北若⁶⁰⁸ 優若美⁶⁰⁹ 宝⁶¹⁰ 光北若⁶¹¹ 優若美⁶¹² 宝⁶¹³ 光北若⁶¹⁴ 優若美⁶¹⁵ 宝⁶¹⁶ 光北若⁶¹⁷ 優若美⁶¹⁸ 宝⁶¹⁹ 光北若⁶²⁰ 優若美⁶²¹ 宝⁶²² 光北若⁶²³ 優若美⁶²⁴ 宝⁶²⁵ 光北若⁶²⁶ 優若美⁶²⁷ 宝⁶²⁸ 光北若⁶²⁹ 優若美⁶³⁰ 宝⁶³¹ 光北若⁶³² 優若美⁶³³ 宝⁶³⁴ 光北若⁶³⁵ 優若美⁶³⁶ 宝⁶³⁷ 光北若⁶³⁸ 優若美⁶³⁹ 宝⁶⁴⁰ 光北若⁶⁴¹ 優若美⁶⁴² 宝⁶⁴³ 光北若⁶⁴⁴ 優若美⁶⁴⁵ 宝⁶⁴⁶ 光北若⁶⁴⁷ 優若美⁶⁴⁸ 宝⁶⁴⁹ 光北若⁶⁵⁰ 優若美⁶⁵¹ 宝⁶⁵² 光北若⁶⁵³ 優若美⁶⁵⁴ 宝⁶⁵⁵ 光北若⁶⁵⁶ 優若美⁶⁵⁷ 宝⁶⁵⁸ 光北若⁶⁵⁹ 優若美⁶⁶⁰ 宝⁶⁶¹ 光北若⁶⁶² 優若美⁶⁶³ 宝⁶⁶⁴ 光北若⁶⁶⁵ 優若美⁶⁶⁶ 宝⁶⁶⁷ 光北若⁶⁶⁸ 優若美⁶⁶⁹ 宝⁶⁷⁰ 光北若⁶⁷¹ 優若美⁶⁷² 宝⁶⁷³ 光北若⁶⁷⁴ 優若美⁶⁷⁵ 宝⁶⁷⁶ 光北若⁶⁷⁷ 優若美⁶⁷⁸ 宝⁶⁷⁹ 光北若⁶⁸⁰ 優若美⁶⁸¹ 宝⁶⁸² 光北若⁶⁸³ 優若美⁶⁸⁴ 宝⁶⁸⁵ 光北若⁶⁸⁶ 優若美⁶⁸⁷ 宝⁶⁸⁸ 光北若⁶⁸⁹ 優若美⁶⁹⁰ 宝⁶⁹¹ 光北若⁶⁹² 優若美⁶⁹³ 宝⁶⁹⁴ 光北若⁶⁹⁵ 優若美⁶⁹⁶ 宝⁶⁹⁷ 光北若⁶⁹⁸ 優若美⁶⁹⁹ 宝⁷⁰⁰ 光北若⁷⁰¹ 優若美⁷⁰² 宝⁷⁰³ 光北若⁷⁰⁴ 優若美⁷⁰⁵ 宝⁷⁰⁶ 光北若⁷⁰⁷ 優若美⁷⁰⁸ 宝⁷⁰⁹ 光北若⁷¹⁰ 優若美⁷¹¹ 宝⁷¹² 光北若⁷¹³ 優若美⁷¹⁴ 宝⁷¹⁵ 光北若⁷¹⁶ 優若美⁷¹⁷ 宝⁷¹⁸ 光北若⁷¹⁹ 優若美⁷²⁰ 宝⁷²¹ 光北若⁷²² 優若美⁷²³ 宝⁷²⁴ 光北若⁷²⁵ 優若美⁷²⁶ 宝⁷²⁷ 光北若⁷²⁸ 優若美⁷²⁹ 宝⁷³⁰ 光北若⁷³¹ 優若美⁷³² 宝⁷³³ 光北若⁷³⁴ 優若美⁷³⁵ 宝⁷³⁶ 光北若⁷³⁷ 優若美⁷³⁸ 宝⁷³⁹ 光北若⁷⁴⁰ 優若美⁷⁴¹ 宝⁷⁴² 光北若⁷⁴³ 優若美⁷⁴⁴ 宝⁷⁴⁵ 光北若⁷⁴⁶ 優若美⁷⁴⁷ 宝⁷⁴⁸ 光北若⁷⁴⁹ 優若美⁷⁵⁰ 宝⁷⁵¹ 光北若⁷⁵² 優若美⁷⁵³ 宝⁷⁵⁴ 光北若⁷⁵⁵ 優若美⁷⁵⁶ 宝⁷⁵⁷ 光北若⁷⁵⁸ 優若美⁷⁵⁹ 宝⁷⁶⁰ 光北若⁷⁶¹ 優若美⁷⁶² 宝⁷⁶³ 光北若⁷⁶⁴ 優若美⁷⁶⁵ 宝⁷⁶⁶ 光北若⁷⁶⁷ 優若美⁷⁶⁸ 宝⁷⁶⁹ 光北若⁷⁷⁰ 優若美⁷⁷¹ 宝⁷⁷² 光北若⁷⁷³ 優若美⁷⁷⁴ 宝⁷⁷⁵ 光北若⁷⁷⁶ 優若美⁷⁷⁷ 宝⁷⁷⁸ 光北若⁷⁷⁹ 優若美⁷⁸⁰ 宝⁷⁸¹ 光北若⁷⁸² 優若美⁷⁸³ 宝⁷⁸⁴ 光北若⁷⁸⁵ 優若美⁷⁸⁶ 宝⁷⁸⁷ 光北若⁷⁸⁸ 優若美⁷⁸⁹ 宝⁷⁹⁰ 光北若⁷⁹¹ 優若美⁷⁹² 宝⁷⁹³ 光北若⁷⁹⁴ 優若美⁷⁹⁵ 宝⁷⁹⁶ 光北若⁷⁹⁷ 優若美⁷⁹⁸ 宝⁷⁹⁹ 光北若⁸⁰⁰ 優若美⁸⁰¹ 宝⁸⁰² 光北若⁸⁰³ 優若美⁸⁰⁴ 宝⁸⁰⁵ 光北若⁸⁰⁶ 優若美⁸⁰⁷ 宝⁸⁰⁸ 光北若⁸⁰⁹ 優若美⁸¹⁰ 宝⁸¹¹ 光北若⁸¹² 優若美⁸¹³ 宝⁸¹⁴ 光北若⁸¹⁵ 優若美⁸¹⁶ 宝⁸¹⁷ 光北若⁸¹⁸ 優若美⁸¹⁹ 宝⁸²⁰ 光北若⁸²¹ 優若美⁸²

□は写真版（昇級しない）、○は昇級（1階級昇級する）、☆は委作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

若茅雅華〃 笠杉富船柏玄珠勝若文三〃 芙大瀬高一信綾〃 こ大書光八 晓有港玄〃 八秀玄小美大高正若富国優東サ玄青長杉倭瀬信游華志八 竹野 雪 原 貴橋芳成紅木竹化池 二阪戸風路大華 の象集丘潮準月象南嶽 戸雪耀光二阪風桂松貴府生陽ノ樸雲壽 戸大墨雪摩南
☆☆☆一
上小玉五渡歌伊高奥神山豊柳田佐大溪柏刈山吉谷一佐小高松清洪大小 小段 平歌慶松金小耀坂中鳥若北宮加石保宇林平穴大柴室齐安坂真鳴倉落 原池井十辺田藤橋崎谷口原原部藤橋 野込田川川糸久潤橋本田谷山野澤 賀 潤見笠百本島部井藤下藤橋谷田早山原曾原山藤内里原谷合 京あか嵐真円鉛葉と美有由光恭舞信風瑞加由真裕ひ間千智綾品和田和美 紫節子茂純原合ゆ真幸伸照裕和安緝川苗慶義根雅那理ちら奈潔良早
八大長〃 静〃 笠産杉大秋玄四皓八〃 富四秀新〃 小美大倭八水美一龍 優晚小曉須星勝八秋サ玄梶中華書志美西柏伊皓四秀〃 中蒼大華龍小 潮手野 原吉 平 象川樺谷花戸 士谷雪城 光二阪 南代菜路文準生月平月坂 木潮川ノ樸友大雪集摩菜 芳墨花谷雪 野穹阪雪文平初
☆☆☆二
田久笠蒲武山石大圓羽野田松堀高清田鈴高渡田重浅井谷松大吉水森鈴 大阿當藤富根後小坂丸泉柏伊梅石山大坂心唐坂竹八中荻濱門紗山段 口保井原居村井村藤山田中村内杉水名木橋辺川松野上脇田野村野美木彩 嶋部間平澤本藤林本子さ崎藤原川本橋口 澤腰下木嶋原村田脇 中 順祐瑞美典優和し和淳三百希里優由部禮真惠美千昇和立司文忠彩希香 瞳遥月朱澄和豊陽香いらとア華靜伊明舟米儀惠アル恵香珠里恵笑
曉 書秀〃 柏霞光玄沙〃 松四華笠千〃 秀浅東星〃 晚〃 杉華小美有玄 带大美大巍若玄右儀愛東笠さ土長千聖靜秀新小高玄大華等麗水大 月 1集雪 芳墨丘樺羅 戸谷雪原曲 雪間陽 月 雪平苑象象黙特中象二阪山竹心嶽文辺心根原わ筆野曲 翠雪城光社黙象雪原墨代象特 ○○
○○○1
宮尾級橋松竹真櫻酒虻对金高藤齊宮保有熊原清上周後吉清鱸長藤沙永鈴 級山荻稻針加真雅望菊酒鬼久河村亚运会伊鈴松木清豊宇大市高桜齋級 部崎 野井田篠井川中子橋音木原井田澤露水久吳藤野桃谷井 井 田田葉寿藤由 月池井十保西山利塚藤河勢木原村水島田久川田井藤 曉由 祥眞愛良晨秀梨睦天美真祐桜均菊ひ子智保婷瑞眞姫娟川和靖山 あ法芽喜里美子清光尚加多玲直沙恵由原崎納美智彩美川保沙倫圭主
美中葉〃 鮎長大夫〃 柏頑平若書大李中美大八花上東一秀華 紅富赤若皓長桜信葉 皓唯瀬梶に中錦玄鶴花照大溪富若大〃 華〃〃〃 笠富文大華 墨勢月 花寿内淀 芳雲成宮集手光野二阪南雲尾根路雪 2竹石土松花寿森大木 花心戶友象 野黄樸辺迦澤淀月貴松象 雪 原貴化象雪 ○○○
小浦三林二上山岸竹羽土佐增河藤金山向大畔寺竹高花柳栗 級下米宮東渡寿堀中福北脇今林浅越清湯齊高石本佐道森竹古塚安小手加寺宮生石中 森田木愛ツ條本内田屋藤原野田子田井住上澤村谷 澤原 垣田下岡瀬 内澤士村口浪梨野谷水本藤橋井間藤嘉内之賀越部暮坂藤塚島崎野原烟 朱恵太友寺寿幸早良龍さ信東土美龍さ美彩美弘楓華天由 美濬如香ゆ香芳博幸瑠梢裕香洋信美瑠美真千健紀正麻内仁菜ひ千奈悠希千幾智理麻
〃 芙光玄光倭光笠倚 倭暁平久葉秋名備有曉須宝華笠李山〃 芙華自飯笠玄秀 大秀大〃 大富〃 秀北晴〃 大大長桜照〃 一西大神大高秀光皓有 二丘樺丘 丘原雲 5雲浜月成喜月川東後穗月坂春雪原光愛 二雪崖田原耀雪 4阪雪手 阪士 雪府美 阪井寿森澤 路 象龍井風雪丘花象 3 ○○○
穴植水南川千須牛伏級字鉢林三高吉市大近松稲荻久唐原佐小立斎山勝下原級廣伊宗吉岩松今竹石岩落池寿征小佐森吉田松赤中佐高和小級 井草野紗上葉田山田 野木慎田橋原村津藤原川保澤敬井出川藤口 村枝田 中庭藤千井野本國村津瀬合田 沢松藤慶田中尾近本々橋田林 ゆ蕙靖英夫美歩真武 育久子篠永友伸ア梅昌里裕田日二瑞友加綾博江美峯翠 千朱友栄美楽奈真拓卓和良恵散野愛暎子彩万明佐裕木裕文晴
晏大一光秀光八書秀笠一晏 積小サ備〃 大須〃 柏〃〃 笠上静八珠晴倭〃 柏さ八秀美八神 玄光葉秋大帶観帶柏柏華平笠華笠和笠さ・珠晴竹 墨淀路丘雪丘潮集雪原葉墨 7扇光后 淀坂 心 原尾 潮悠美 心わ潮雪一奈 6鶴丘月川淀中 中心芳雪成原雪原 原わ 悠美華 ○○○○○○○○○○○○
平大吉肥岩鈴岸横村根後級今西石柳寺石中丸吉鉢林藤柳長山手奥野長吉小阿鈴上複齊内級川須相野絆美三鑑大横森遠小山手奥猿豐丸半田柿 柿澤木田立木千倉山岸藤 井川橋武本西鋼山原木能森光谷田島野 濱池林部木原本藤野 田口澤沢汎恵谷塚園山本山林田塚田田泉口田辺沼 か信幸詩來明真秋源由涼大 優原愛と三智往寛凜成祐祐貴尊愛親愛リ紅秋弘美由 啓千ま卓尚子理勝多里み上由爽麻圭朱茉莉菜恵有
春和若墨董岐中新柏中 秀唯み船平〃 笠和〃 大若杉華玄富サ〃 大〃 若大和長中〃 秀北芙蓉観八中大平高有 玄珠四秀晏一〃 大大八〃 秀 玖 竹洋 阜野城芳野段 雪心月橋成 原 阪竹松 雪耀土ノ 淀 松手 野央 雪府二雪扇潮央手成社続 8燭悠谷雪墨葉 淀手潮 雪 級
節大汀青藤保中神上佐位 里聴河壗戸山森白宗沖尾福村長栗村玉渡柱岩藤東関今宮坂常宮平星福進八田阿夕深柳 級桜津千穂中中佐泉三会竹大 森 木橋 谷林條藤不川 野 根本舞崎節田藤田松戸原田木辺本澤原岡千惠島本田下松野本之谷村部島 海澤 井田葉見井里々谷輪田澤井 真淳心千い子美桃和未 浩子紗音川さ花き子信ア朱美智亞洋美彩敦由米胡恵美節幹彗莉天奈麻池虹夏ニ智佳美夢 法恭和千秀亮木興桂汐菜宣
春城大相有游華龍秀富心若秀莫花玄志、若紅中六〃葉〃サ久巍〃 富伊倭源瀬源瀬美桜美京南須〃〃瀬 書李〃〃〃 北〃〃 大笠書さ サ水さ 玖彩阪模象墨雪文雪貴和松雪月象黙松竹勢会 月 ン喜山 貴奈 創戸創戸墨森墨都 坂 戸 之光 府 阪原集わ 代わ 五 硬 五
金日大村森大 有藍西小保琴本影福弓中川平衣和友伊中青山天黒槻澄水岡波吉豪照森渡木石水日大咲坂仙小永高熊田児熊丸星藤榎 級筆 澤置村菅本島川彩田 津田坂 間山岡 創村原井 里藤谷 口 田田 野江多池 脇部下黒野比津川井 野 橋野中玉田山野牧原 佳倫波レ奈美め 菊川由秀三あ浜真 千美田ふ利子江と美沙藍虹菜靖子美邑野峰子と福民勝野忍奈京翠立翠珠満泰勇桃早降節
四東皓光露秀玄書漢名竹 倭信石央光秀飯勝船若雅宵若梯 華若光野玄伊雅勝船勝〃 倭巍若 『長游笠』サ長杉華若玄東桐杉相〃 倭巍 紅京 谷根花化丘訪雪模之月東華準 大峯 丘雪田木橋竹 月竹森三雪竹丘辺心墨 橋木 山宮準野墨原 ン翠 雪松心陽生 模 山四雪都 ☆☆二 ☆
高秋岡川酒舒篠濱石森森佐菅西鈴田吉後中汀雅佐工段上加榎真湯清植飯山鷺川須竹 静赤百石松小木榎乘井飯木山松小齊冲峯 級紅齊 杉 田久井 田田原内訪原 知久原渴木川藤村 田屋沢 野屋藤本島澤永原田崎谷岸田前 井瀬橋田林村谷田上田村本本磯山真村 藤 優河み保秀山泰綠幸麻彩幸 子間節齊裕美成豊心友染螢彰暉 惠裕政淳玄真雅浩裕晶美西美梗 千恵雅美眞夢暁あ八美天澄明正典理由伊 彩伊
源磯サ華〃 西國須勝東聖若御〃 玄秀大小游中光花葉秀溪御 大名麗若船瀬練一和茜若華玄游大秀〃 玄御飯 玄長 京玄構〃 船瀬八石若華大長 創辺ノ雪 府坂木陽 竹牧 横雪阪光墨勢丘象月雪月斗準象東墨駒橋戸馬路 松雪黙墨阪雪 横牧田 二都心浜 橋戸潮峯松雪象翠
☆☆☆二
香酒平鳴坂西前富田林宮貞穴川甘林中神辻友本鈴八酒貞 級島西真菊林世一松坂谷染高青田井麗高貞三戸川富 渡珀森仁梶小野加安島荒 井山原野村山澤早川柴 原田中珠島山岡野間木井 千切島 田梨吉糸本口通谷橋木中上 橋 和田田 迎 晨木谷藤村澤藤千井 文尚慶潔萌奈景澄恭苗萌理泉義か恵恰真禮啓和健敏あモ翠 春夢美花佳香貴ひ孝華真紀み由彰典 真月玉碧美静 由舟英理舞ち美高昌か裕優
美横稚 濑大富御芭靜北嵐小〃 皓長秋〃 華湊東皓中玄京 千名〃〃〃 船小石正雅〃 華サ城磯大〃〃 大嵐新山李秀玄信瀬名御小上大小蒼高 那浜 特戸阪貴牧 翠府山平 花翠川 雪 陽花大模都準曲 東橋平峯桂 雪ン彩辺雪象 阪山城愛光雪模大戸東牧光尾阪平穹社初 ○○○2 ☆☆☆二
ス鈴原級安濱小豊吉小梅増藤北渡大松森久愛清林伊泉中段 小末小高伊石滝山唐花玉齊石清門井齋針山若增木佐飯熊虹中伊林鐘山竹吉木間清 ミ木口 藤田柴 田林津井村瀬池村本保 水愛藤さ野 山田山橋月曾田中津 井木谷出上田臨藤寿寺井内井塚澤川澤藤竜 田村村 宮水 ス久佳 ち珠清苑彩輝八久和瑠ゆ久希み田皓智友らは直棕華美晴根紗笑由峰カ祐賢桂真葉里美喜由伸弥日瑞亮ひ梨博道矢洞成楓珠華花彩
〃〃若珠和水花 秀光〃 練松名船大〃 華山秀美書船倭大龍新練 美若〃 唯有〃 皓葉サ神秋松横照暁小茅〃〃 大〃 華さ瀬山神芙華玄麗浅愛小 竹悠 代雲 1雪丘 馬戸東橋象 雪愛雪五集橋 井文城馬特菜竹 心象 花月ン林川戸浜澤月川野 象 雪わ戸愛ニ雪黙墨間心光 ○○○1
平山柄半田桜寺級小大牛松高渡本田大山長松高橋平長赤中渡熊級凜相古今永大二脇知丸酒坂金織小後流暁田塚字鈴安村田加紺内柏栗稲高松鬼木 井川澤田島井澤 百木島山橋邊間中久田井本橋野野瀬近村辺谷 原浪本井島ツ口 子井本子戸松藤 中越田木部田山藤谷野原岡田川十村 里喜悦菜静圭弘 合詩春聯美琳彩百保夷裕奈壱茱子佐萌晴利 遊由裕恵靖紗寺梢真い和香千晨愛瑞溪道万菜川里ひ智直富紀由瑞由菜倫董加智
大神サ有秀華北御 八玄〃 大北〃〃〃 秀瀬千和華富国優藏紅一竹書大巍華四 若練光練〃〃 名優さ船華〃 大富上〃 珠秦游〃 富小長水静右若サ 阪林ン象雪府牧 3潮樺 阪府 雪戸曲 雪貴府生 竹葉華集阪山雪谷2松 馬丘馬 東生わ橋雪 手土尾 悠野墨 土光野代 文竹ン ○○○○
松倉渡石常清富貞級齊堦大落細肥今上宮吉安大森奥芝宇下伊柿石岩清中久 級東柄白須平田蛭松大阿大小藤久岩長奥丸田長玉高西美水山津安石 田科辺田水田 藤内住合田田國原下川藤森清景田條短藤沼川崎 番保 岡崎澤田有丸川村岡部橋暮田保野谷手口中竹木橋川 野田村部橋 司豊彩結蓮芽竹 実里彩良真来貞秋利真由淳石と泉川梅美直有静和茜麻田 香帆麻千加美愛勇瞳紀峻千美祐栄勇莉和雅美真原香彩遼星文愛

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

華雪・神奈川・霞墨・花蓮会・北府・暁華・暁山・久喜・藏・溪月・玄嶽・硯扇・源創・玄樸・玄默・虹苑・皓花・高社・紅竹・高園

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

正桂・成城・静翠・石峯・泉華・仙台・蒼穹・大象会・たけのこ・竹華・千曲・茅野・中央・月・土筆・汀楓・照澤・東陽・内藤・中野・練馬・柏心・蓮田・葉月・晴美・半田・光ヶ丘・聖・ひまわり・富貴・富士見

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

注意・出品券には作品と出品券の段級位を正確に一致させて記載してください。

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

